



こうづく地区戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業で整備された圃場

第1期経常賦課金の納入期限は7月15日です。

(納期限が土・日曜日・祝日に当るときは、最後の休日の翌日が納期限になります。)

口座振替契約の方は、6月末と7月17日に口座振替を予定しておりますので、いずれかで口座引き落としが出来ますよう残高をご確認ください。

〈目 次〉

理事長あいさつ.....	2	平成24年度賦課額一覧表・平成24年度決算金一覧表.....	10
通常総代会開催.....	2～3	平成24年度一般会計・特別会計予算.....	11～12
通常総代会 来賓祝辞.....	4～5	21世紀創造運動活動（水の道探検隊）.....	13
平成22年度決算報告.....	6～7	農地・水・環境保全対策活動紹介.....	14
平成22年度財産目録.....	8	こうづく地区安全祈願祭、表彰.....	15
平成23年度補正予算、伝言板(改良区への届出).....	8～9	通水安全祈願祭、事務局構成.....	16

平成23年度 通常総代会挨拶

理事長 高橋 昭一



挨拶する高橋理事長

昨日の三月十一日は総代会の日、その審議の最中午後二時四十六分、あの忌まわしい東日本大震災が発生しました。この会場も大揺れとなり会議も中断しましたが、停電にもならず、終了することができます。またが、被災状況が明らかになるにつれ、未曾有の大災害となり、一年を経過した今も被害の爪痕は大きく過日の追悼式での家族代表の言葉をお聞きすると本当に心が痛みます。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、国を挙げての一日も早い復興を願うものであります。

本日平成二十三年度通常総代会にあたり、総代各位には、ご多用の中、ご出席を頂き大変有難うございます。

また、ご来賓の川西町原田町長、西置賜農村整備課小形技術主幹、長井市那須農林課長、飯豊町宇津木産業振興課長には、ご公務多忙の所、ご臨席を賜り、日頃のご指導ご支援のお礼と合わせながら感謝申し上げます。

今、国論を二分しているTPP協議参加表明であります。また、我々の立場からすれば、国民の生命財産を守るのが国の指名とするならば、命に関わる食料、医療に外国の参入を許すことは如何なものかと考えます。国の発展には、経済GDPも大切であります。また、昨年国王が来日したブータンでは、GDPが幸福度という指標によって、国民の九十七%が満足感を持っているとのことです。しかし、国民一人当たり所感を持つてはならない訳で補修は計画的に進めなければなりません。長寿命化、整備水準を高め

得が二〇分の一にも満たない国民がそう感じていることに何か日本人が忘れてきたことがないのかを考えさせられます。TPP参加が国を開く事になるのか、国を売る事にならないのか、広く国民の議論が必要かと思います。

その国内対策というべきものが、戸別所得補償制度と農地・水・環境保全向上対策であると思います。直接支払いによって、昨年は稻作所得の六〇%を支給したということですし、保全会の補助金も幅広いメニューに対応出来る様になつたと聞いております。国が食料の安定確保と、農家が水路や農地を管理することにより、国土保全や環境が維持されないことへの評価をし、農業の将来展望が描ける政策が強化されることを望むものであります。

さて、二十四年度の事業であります。こうすぐ地区の基盤整備事業は四〇haの面工事を計画されております。山形県で初となる「フォアス」という地下かんがい方式を取り入れ用排水管理の省力化と水田畠地化の救世主として今、全国的に注目を集めております。当地区ではキャベツと加工用トマトを試験的に作付しましたが、すばらしい出来だったと聞いております。又、若い担い手が農地集積や農機の共同化をすべく農業生産法人を組織し、そのネーミングも『ファーマーズ高志園』と原田町長さんに命名して頂き、意欲を持って取り組んでいるところです。又、宮地地区も調査事業から二十五年度事業の採択を目指しております。

更に大塚地区やこうずく地区の隣接地区でも検討をされており、改良区としてもうれしい悲鳴を上げているところであります。将来にわたる農業生産基地としての基盤作りでありますので積極的にサポートしてまいりたいと思います。

又、新規事業の農業体質強化基盤整備促進事業は二年間で八ヵ所の申請を計画しているところであります。水路や施設は日々老朽化する中で、用水に支障があつてはならない訳で補修は計画的に進めなければなりません。長寿命化、整備水準を高め

るためにも重点的に取り組んでいきたいと思います。更に飯豊町の農地防災事業三路線が計画されておりますが、近年異常気象が多発的傾向にあり、大雨、洪水に備える為に大変重要な事業でありますので、一体となつて取り組んでいきたいと考えております。

規定の一部改正等であります。昨年県の指導検査で指摘を受けた、支給規定の設定と報酬と費用弁償の明確化。特に常勤に近い役員への給与は報酬へ一本化するよう指導があり、役員の中に報酬検討委員会を設置し、協議を重ね、理事会に報告書の提出を頂き、それにより改正案を提案させて頂きましたので、後ほどご審議をお願い申し上げます。

水利権協議であります。整備局と農政局で継続して進められております。特に非かんがい期の水利権は新規取得ということもあり、昨年九月に三度目の延長暫定水利権で現在取水をしている所であります。この水は地域の住民の方々にも多面的に利用されておりますので止めることは絶対できません。我々は協議の中に入る事はできませんが、今まで十分に説明希望をしている所であります。

以上申し上げましたが、土地改良区は農業の基盤作りと用水とそのための施設管理を通して農業経営をサポートすることを最大の業務と考え組合員皆様の負託にこたえられるよう、日々業務遂行にあたっておりますので更なるご理解ご協力をお願い申し上げ、本日提案させて頂きます議案、慎重にご審議頂き、御承認くださいますようお願い申し上げ挨拶といたします。

平成二十三年度 通常総代会開催

全議案原案どおり可決

平成二十三年度通常総代会が、去る三月十四日午後一時三十分より本区事務所に於いて開催されました。

た。総代定数五十名中四十八名が出席し、来賓に原田俊二川西町長、小形欽也置賜総合支庁産業経済部西置賜農村整備課技術主幹、那須宗一長井市農林課長、宇津木耕一飯豊町産業振興課長のご臨席をいたしました。

議長には、川西町大字上奥田工藤勉総代が選任され、全議案原案通り可決されました。

● 議事

報第一号 平成二十二年度事業報告の承認について

認第一号 平成二十二年度一般会計歳入歳出決算書の承認について

認第二号 平成二十二年度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出決算書の承認について

認第三号 平成二十二年度特別会計償還事業歳入歳出決算書の承認について

認第四号 平成二十二年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出決算書の承認について

認第五号 平成二十二年度特別会計基盤整備事業歳入歳出決算書の承認について

認第六号 平成二十二年度特別会計職員退職給与基

金積立歳入歳出決算書の承認について

認第七号 平成二十二年度特別会計役員退職給与基

金積立歳入歳出決算書の承認について

認第八号 平成二十二年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出決算書の承認について

認第九号 平成二十二年度特別会計特別積立金歳出決算書の承認について

認第十号 平成二十三年度特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について

認第十一号 平成二十四年度財産目録の承認につて

認第十二号 専決処分した事件の承認について

議第一号 平成二十三年度特別会計基盤整備事業歳入歳出第三回補正予算（案）について

議第二号 平成二十四年度事業計画の議決について

議第三号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の

拠出議決について

議第四号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の拠出議決について

議第五号 白川土地改良区役員報酬、役員、総代費用弁償額及び旅費支給規定一部改正（案）の議決について

議第六号 平成二十四年度一般会計賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第七号 平成二十四年度役員報酬額及び総代、役員の費用弁償額の議決について

議第九号 平成二十四年度一時借入金の議決について

議第十号 平成二十四度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出予算（案）の議決について

議第十一号 平成二十四年度特別会計償還事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十二号 平成二十四年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出予算（案）の議決について

議第十三号 平成二十四年度特別会計かんがい排水事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十四号 平成二十四年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出予算（案）の議決について

議第十五号 平成二十四年度特別会計基盤整備事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十六号 平成二十四年度特別会計基盤整備事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十七号 平成二十四年度政策公庫資金（農林水産事業）の借入及び償還方法の議決について

議第十八号 平成二十四年度一時借入金の議決について

議第十九号 平成二十四年度決済金の額の議決について

議第二十号 平成二十四年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出予算（案）の議決について



質問する浅野章総代



質問する井上南総代



議長 工藤勉総代

来賓祝辞



原田俊二川西町長

川西町長 原田俊二挨拶

本日は白川土地改良区の平成二十三年度通常総代会まことにおめでとうございます。

高橋理事長さん初め役員の皆さん、総代の皆さんには地域農業振興のためにご尽力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

今年も豪雪となりました。二年連続の豪雪となり負担が増えた思いをしております。

これから雪解けが始まれば施設など、様々な災害が出てくるのかと思ひますし、果樹などそういう場所にも影響が出るのかと心配をしております。雪解けも去年と同じように遅くなる可能性もございますので、融雪剤の配布などそれぞれの市町で又県を挙げて応援をしていきたい考えでございますので、相談をして頂きたいと思います。

何回も繰り返されるように昨年は東日本大震災の大きな影響で、日本全体が暗く沈んでしまったといふ思いをしております。

国の大型の災害復旧等の予算付けもされている訳ですが、被災地を見ますとようやく瓦礫が片付いた程度であります。家の土台がそのまま残っていて、土台がまだ撤去されていない、コンクリートがむき出しになつた状態であります。

私も三月十一日岩手の大槌町の追悼式典に参列させて頂きましたが、まだ行方不明者が四百人、亡くなられた方が七百人という状況であります。町の人口の二割が減少している中で、土地の買い上げや整理をしたい訳ですけども、面積も相続人も確定できない状況であり、どこから手をつけているらしいのかというお話をされておりました。そういう意味ではいち早い復旧が望まれる訳ですが、時間のかかる課題かと思います。私としては、できるだけ被災者の皆さんの思いに寄り添う形で支援をしていかなければならぬと思います。強く言われているのは働く場所です。義援金を頂いたり、仮説住宅では食べるには困らないかもしませんが、やはりこれから先どのようにして生計を立てていくのかと考えた時、働く場所がほしいという事を強く訴えられました。

我々ができる事は限られてはおりますが、そういう思いを国や行政などに訴えていく事も応援になるのではと思つております。

土地改良事業におきましてはご紹介にもありますけれども、様々な事にチャレンジしながら、そして指導機関として行政の方もしっかりと支えていく事で頑張つて行きたいと思っております。

この総代会を通じまして議論されたものが継承されまして、二十四年度の事業も発展して頂ければならない状況の中で、転作をしている中から農家所得を向上させる大きな目標に立つてこうずく地区の圃場整備がスタートしました。これに続く、それぞれの地区でも合意形成に向けて話し合いが進められております。町の負担も当然伴いますので、財政計画など

立てなければならない訳ですが、農家所得が上がれば、町のそして地域の活力も上がって行く訳でありますので、大きな視点で支援をしていきたいと思っております。

さらに、米沢平野管内になりますが、高山地区で

も今年度からスタートするそうであります。川西のみならず、置賜は全体として農業振興に力を入れてきました市町でありますので、しっかりと取り組んでいきたいと思います。

こうづく地区におきましては、山形県全体として取り組んで頂いておりまして、こうづくプロジェクトということで、県の部長さんとお会いしても総合支庁の佐藤部長さんとお会いしても、これを何とか成功させて山形県の農業を変えていきたいというそんな力強い応援も頂いております。そのモデルとしてしっかりとサポートをして成果を上げられるよう取り組んでいきたいと思っております。

若い人たちも意欲を持って取り組んで頂いておりますし、今回キヤベツを始め、戦略的作物という形で再生協議会でも支援をしていくことにしております。

何から始めたらいいか手探りの状態ではありますけれども、様々な事にチャレンジしながら、そして指導機関として行政の方もしっかりと支えていく事で頑張つて行きたいと思っております。

結びになりますけれども、白川土地改良区の益々のご発展と、今日ご参会の皆さんますますのご健勝ご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠におめでとうございました。

来賓祝辞



祝辞を代読する
小形技術主幹

置賜総合支庁産業経済部長 佐藤嘉高 挨拶

西置賜農村整備課小形でございます。

本日別途公務によりまして佐藤が欠席しております。部長から祝辞を預かってまいりましたので、代読させていただきます。

白川土地改良区の平成二十三年度通常総代会の開催に当たり一言ご挨拶申し上げます。白川土改良区の高橋理事長さんをはじめ役職員の皆様方には日ごろから地域農業の振興と農業農村整備事業の推進につきまして、多大なるご理解とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、東京電力福島第一原子力発電所の事故から一年が経ちましたが依然として農業への風評被害は収まる気配がありません。このことは日本の食糧基地である東北・山形県にとって極めて重要な課題となつております。農産物の取引価格・市場価格の下落、買い控え等が発生しており農業関係者の生活に深刻な影響を与えております。

さらに、今冬は記録的な豪雪となり死傷者は三百名を越し、農作物等の被害は現時点で約五億円となつております。今後、さらに被害が拡大する懸念があります。

また、政府は環太平洋戦略的経済連携協定いわゆるTPP交渉参加に向けて関係国と事前協議を開始しました。知事は、TPPは農業分野を初めとして国民生活の幅広い分野に影響を及ぼすものであり、交渉参加の判断にあたっては、我が国の食料自給率の向上策との整合を図るとともに、国民的議論を踏まえた合意形成を欠かせないものとの意見を表明しておりますが、このよう農業を巡る情勢は不透明かつ困難な情勢が続いており、力を合わせて乗り越えていかなければなりません。

次に、農業農村整備対策予算の状況でございます。

国の来年度の当初予算を見ますと、農業農村整備予算は二千百二十九億円と昨年度当初予算と同額であり、新たに復興枠として二百八十億円が計上されました。また、昨年度に新設された農山漁村地域整備交付金は、昨年度は一千五百億円でありましたが、今年度はその一部を新設された地域自主戦略交付金いわゆる一括交付金に移行された事に伴い三百十八億円と減額になつていましたが、来年度は、さらなる一括交付金への移行が進み九十六億円と大きく減額になりました。この一括交付金は地域の自由裁量による基盤整備等に要する経費に充てるためにつくられたものであり一括交付金化への流れが今後さらに加速するものと思われます。

山形県では、これから国の予算を効率的に確保し、農林水産業の再生に向けて農林水産業を起点とする産出額三千億円を目指しておるところです。平成二十四年度の耕地公共予算は昨年度の当初予算に

比して百八%を計上しております。今年度の補正予算から繰越しました予算と合わせて執行していくします。

白川土地改良区内のこうずく地区では基盤整備を契機として米依存型農業からの転換を促進し、市場性が高い新たな農作物を導入して産地形成を目指しているとお聞きしております。このような新たな取り組みを含む継続事業、また、新規採択要望地区につきましても皆様と力を合わせて取り組んでまいりますので、よろしくご協力を願います。

最後に、理事長さんの強いリーダーシップのもと、これまで培った経験を十分に發揮され、新たな時代に即応した事業の推進に、積極的に取り組んでいただき、なお一層御発展される事をご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。



平成23年度通常総代会

平成22年度 会計決算の報告

一般会計

歳入合計 223,851,692円

組合費	85.08%	190,459,949円	平成22年度賦課金
助成金	0.45%	1,000,000円	市町より
補助金	0.67%	1,500,000円	維持管理適正化事業
雑収入	2.39%	5,355,189円	過年度賦課金、手数料等
繰越金	9.37%	20,967,968円	前年度より
繰入金	1.11%	2,474,781円	各特別会計より
不動産収入	0.91%	2,035,000円	土地・建物賃貸料
財産収入	0.02%	58,805円	

歳出合計 209,532,975円

事務所費	43.69%	91,551,297円	総代・役員費、事務費等
維持管理費	37.63%	78,855,608円	維持管理費
区債及び借入金	0.04%	78,082円	一時借入利子
財産費	12.33%	25,839,000円	退職給与基金、特別積立金、基本財産積立金
負担金	5.87%	12,277,191円	法定負担金、その他負担金
選挙費	0.44%	931,797円	

繰越額 14,318,717円

特別会計

基幹水利施設管理事業

歳出合計 24,816,591円

歳入合計 24,816,591円

基幹水利施設管理事業 24,816,591円

基幹水利施設管理事業 24,816,591円

繰越額 0円

歳出合計 19,371,919円

償還

事業

歳入合計 41,838,959円

区債及び借入金 19,267,138円

助成金 9,559,356円	繰越金 12,410,098円	繰入金 12,634,239円
-------------------	--------------------	--------------------

— 繰出金 104,781円

賦課金
5,239,217円

雑収入
1,996,049円

繰越額 22,467,040円

歳出合計 29,341,094円

かんがい排水事業

歳入合計 45,016,607円

事業費 19,785,270円	区債及び借入金 7,914,219円
--------------------	-----------------------

区債及び借入金 23,700,000円	補助金 12,671,000円	繰越金 1,178,707円	—
------------------------	--------------------	-------------------	---

— 事務費 1,641,605円

賦課金
7,408,861円

繰越額 15,675,513円

— 雜収入
58,039円

基盤整備事業

歳出合計 74,206,734円

		換地清算交付金 29,044,407円
		区債及び借入金 2,968,154円
		分担金及び負担金 1,194,000円
		事業費 5,512,085円
		事務費 1,433,631円
	事業費 8,251,596円	分担金及び負担金 22,272,000円
		事務費 2,908,340円
		区債及び借入金 622,521円
繰越額		2,914,214円

歳入合計 77,120,948円

	換地清算収金 29,264,126円
	雑収入 522,198円
	繰越金 2,752,830円
	繰入金 1,000,000円
	受託料 2,520,000円
	区債及び借入金 1,050,000円
	賦課金 4,408,055円
区債及び借入金 22,200,000円	受託料 10,778,250円
	賦課金 1,907,044円
	補助金 440,000円
	繰越金 278,394円
	雑収入 51円

地区除外等処理決済金

歳出合計 0円

繰越額	16,048,280円

歳入合計 16,048,280円

	繰越金 15,047,283円
	決済金 997,288円 雜収入 3,709円

職員退職給与基金積立

歳出合計 26,686,500円

	退職給与金 26,686,500円
繰越額	75,788,011円

歳入合計 102,474,511円

	繰越金 92,264,673円
	繰入金 10,000,000円 雜収入 209,838円

役員退任慰労金積立

歳出合計 3,568,000円

	給与金 3,568,000円
繰越額	591,803円

歳入合計 4,159,803円

	繰越金 3,280,326円
	納付金 439,000円 繰入金 439,000円 雜収入 1,477円

特別積立金

歳出合計 0円

繰越額	36,851,903円

歳入合計 36,851,903円

	事務所修繕及び備品積立金 34,396,344円
	研修費積立金 2,455,559円

基本財産積立金

歳出合計 0円

繰越額	218,220,381円

歳入合計 218,220,381円

財政調整基金 70,658,128円	事業積立金 147,562,253円
-----------------------	-----------------------

平成22年度 財産目録

(単位:円)

【資産】

【負債】

摘要			金額	摘要			金額
流動資産			432,154,341	長期負債			267,283,855
現金及び預金	預金	55,375,484			日本政策金融公庫	203,066,220	
未収入金	未収賦課金、使用料	28,357,479			全国土地改良資金協会	2,104,000	
特定資産	各種積立金	129,279,997			山形おきたま農協	62,113,635	
固定資産	基本財産	出資金等	219,141,381	短期負債			347,500,378
			108,517,901		地区除外等処理決済金	16,048,280	
	土地	事務所敷地他	61,725,442		職員退職給与基金積立金	75,788,011	
	建物設備	事務所、設備	42,077,863		役員退任慰労金積立金	591,803	
	機械器具	機械、車両	1,618,458		特別積立金	36,851,903	
備品			3,096,138	基本財産積立金			218,220,381
資産合計			540,672,242	負債合計			614,784,233

平成23年度 会計別補正予算総括表

(単位:千円)

◎ 一般会計(第1回)

歳入

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
6. 繰越金	8,000	14,300	6,300	—	1. 事務所費	92,380	96,680	4,300	—
					4. 財産費	17,870	19,870	2,000	—
計	225,360	231,660	6,300	—	計	225,360	231,660	6,300	—

◎ 一般会計(第2回)

歳入

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
					2. 維持管理費	100,070	100,070	—	—
計	231,660	231,660	—	—	計	231,660	231,660	—	—

◎ 特別会計償還事業(第1回)

歳入

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
3. 雑収入	15,937	15,314	—	623	2. 区債及び借入金	66,558	68,134	1,576	—
4. 繰越金	21,633	23,832	2,199	—					
計	66,692	68,268	1,576	—	計	66,692	68,268	1,576	—

◎ 特別会計かんがい排水事業(第1回)

歳入

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 白川左岸地区	13,600	43,400	29,800	—	1. 白川左岸地区	13,600	43,400	29,800	—
計	13,600	43,400	29,800	—	計	13,600	43,400	29,800	—

◎ 特別会計基盤整備事業(第1回)

歳入			歳出						
款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. こうづく地区	11,210	11,790	580	—	1. こうづく地区	11,210	11,790	580	—
計	15,401	15,981	580	—	計	15,401	15,981	580	—

◎ 特別会計基盤整備事業(第2回)

歳入			歳出						
款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. こうづく地区	11,790	13,620	1,830	—	1. こうづく地区	11,790	13,620	1,830	—
計	15,981	17,811	1,830	—	計	15,981	17,811	1,830	—

◎ 特別会計基本財産積立金(第1回)

歳入			歳出						
款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 財政調整基金	73,700	75,700	2,000	—	1. 財政調整基金	73,700	75,700	2,000	—
計	221,270	223,270	2,000	—	計	221,270	223,270	2,000	—

伝言板 こんな時は必ず届出をお願いします!!

○農地を売買及び交換並びに贈与したとき
○農業者年金などにより経営を移譲するとき

「組合員資格喪失通知書」の提出をお願いします。

☆組合員の交替については「組合員資格喪失通知書」の提出義務があります。

○農地を転用するとき（田を宅地等にする場合）
○公共事業等（道路改修、河川改修等）により農地が買収されたとき
「地区除外申請書」「農地転用等の通知」の提出をお願いします。
地区除外については決済金を納入していただくことになります。
☆公共機関（農業委員会・法務局等）で手続きを行っても、土地改良区に届出がなければ台帳、賦課等の変更は行われませんので必ず届出をお願いします!!

○自動口座振替について組合員の交代に伴い口座の変更があったとき
「貯金口座振替依頼書（変更）」の提出をお願いします。

☆賦課金の納入には自動口座振替をご利用ください。お手続きは改良区でお願いします。
取扱金融機関は山形おきたま農業協同組合と山形銀行です。

担当 総務課賦課徴収係

○土地改良施設を出入り口に利用するとき
○家庭排水や浄化槽処理水を水路に放流するとき
「土地改良財産他目的使用承認申請書」の提出をお願いします。
○公共下水道、集落排水処理施設等に接続したとき
「土地改良財産他目的使用中止届」の提出をお願いします。

☆平成21年4月より、個人住宅への進入路、個人住宅の浄化槽排水の他目的使用を新規申請する場合、使用料・手数料を承認時一括前納していただくこととなりました。以前より使用されている場合は更新手続きのご連絡をいたしますのでご来所願います。その際に使用料についてご説明いたします。

担当 管理課維持管理係

平成24年度 賦課額一覧表

第一期賦課期日 5月15日：納入期限 7月15日

第二期賦課期日 5月15日：納入期限 11月15日

◎一般会計

(単位:円)

会計種別	10a当たり賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額
経常賦課金	4,800	4,800	—
	2,880(6／10地区)	2,880	—

◎特別会計(償還事業)

(単位:円)

会計種別	10a当たり賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
柳沢地区	1,000	—	1,000	-500
豊里地区	5,800	—	5,800	—

大塚地区は地元負担が完了いたしました。

◎特別会計(かんがい排水事業)

(単位:円)

会計種別	10a当たり賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
白川左岸地区	1,500	—	1,500	-100

◎特別会計(基盤整備事業)

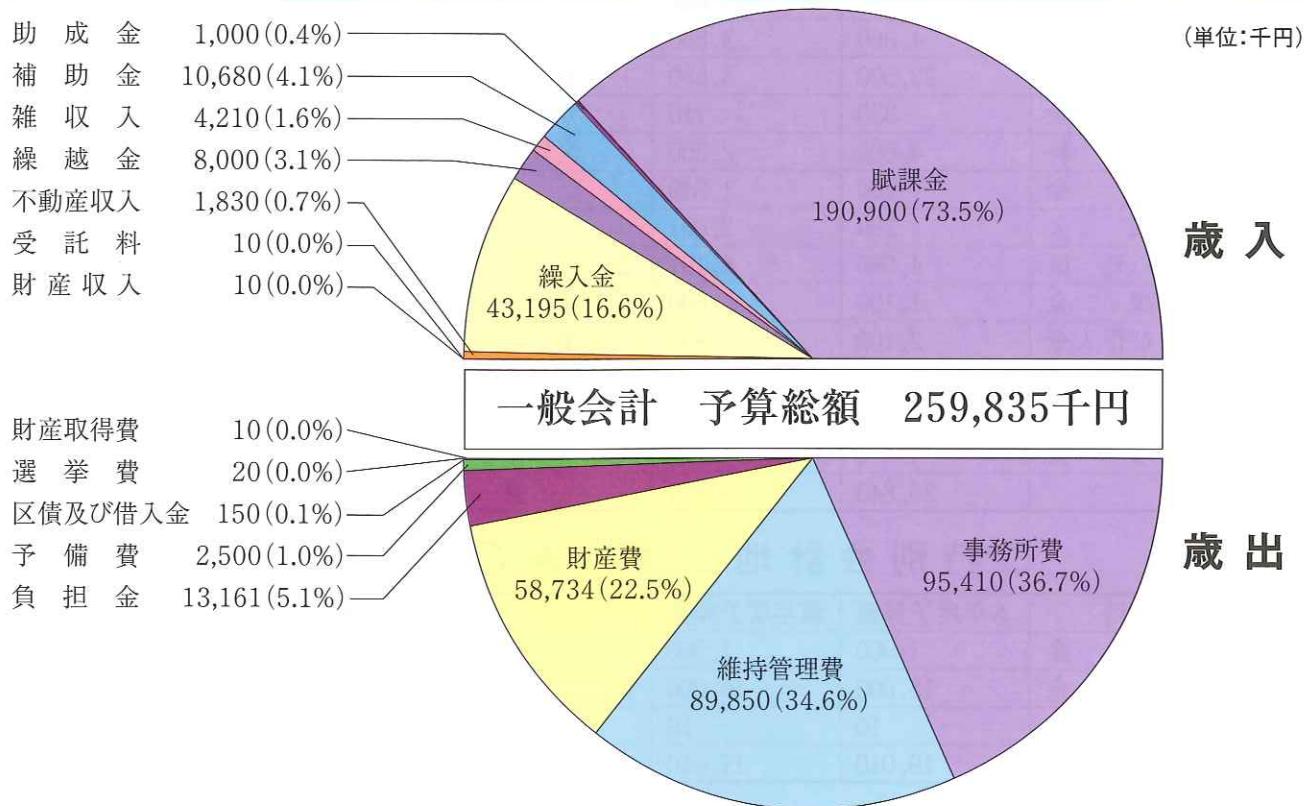
(単位:円)

会計種別	10a当たり賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
こうづく地区	4,500	—	4,500	+500
宮地地区	1,600	—	1,600	+600

平成24年度 地区除外等決済金額一覧表

事業種別	m ² 当たり決済金額
国営土地改良事業	75円17銭
国営附帯県営土地改良事業	19円97銭
一般	8円28銭
一般(6／10地区)	4円96銭
白川左岸地区	ストックマネジメント事業
	新農業水利システム保全対策事業
豊里地区	138円55銭
こうづく地区	調査
	事業

平成24年度 一般会計予算のあらまし



平成24年度 特別会計予算総括表

(単位:千円)

◎ 特別会計基幹水利施設管理事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
基幹水利施設管理事業	17,000	16,980	基幹水利施設管理事業	17,000	16,980
管理体制整備促進事業	10,460	10,190	管理体制整備促進事業	10,460	10,190
計	27,460	27,170	計	27,460	27,170

◎ 特別会計償還事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	3,904	6,640	繰出金	21,835	134
助成金	57,379	9,542	区債及び借入金	93,526	68,134
雑収入	14,765	15,324			
繰越金	29,843	23,832			
繰入金	9,460	12,920			
財産収入	10	10			
計	115,361	68,268	計	115,361	68,268

◎ 特別会計かんがい排水事業(白川左岸地区)

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	8,075	8,617	事務費	1,560	1,600
繰越金	1,024	15,595	事業費	1,140	31,650
雑収入	101	101	区債及び借入金	6,500	10,150
計	9,200	43,400	計	9,200	43,400

歳入 ◎ 特別会計基盤整備事業 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
1. こうづく地区賦課金	32,180	15,620	1. こうづく地区事務費	32,180	15,620
区債及び借入金	4,360	3,880	事業費	3,850	3,950
補助金	22,500	5,580	分担金及び負担金	4,880	3,170
受託料	330	110	区債及び借入金	22,650	5,730
繰越金	4,000	2,500		800	2,770
雜収入	700	1,549			
	290	2,001			
2. 宮地地区賦課金	4,660	4,191	2. 宮地地区事務費	4,660	4,191
区債及び借入金	1,100	690	事業費	740	410
補助金	2,100	805	区債及び借入金	3,680	3,751
繰越金	1,400	2,695		240	30
雜収入	59	—			
計	36,840	19,811	計	36,840	19,811

歳入 ◎ 特別会計地区除外等処理決済金 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
決済金	1,000	1,000	繰出金	17,200	10
繰越金	18,000	16,000	積立金	1,810	17,000
雜収入	10	10			
計	19,010	17,010	計	19,010	17,010

歳入 ◎ 特別会計職員退職給与基金積立 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	10,000	10,000	給与金	94,300	85,600
繰越金	84,000	75,300			
雜収入	300	300			
計	94,300	85,600	計	94,300	85,600

歳入 ◎ 特別会計役員退任慰労金積立 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	560	450	給与金	2,624	1,354
納付金	560	450			
繰越金	1,500	450			
雜収入	4	4			
計	2,624	1,354	計	2,624	1,354

歳入 ◎ 特別会計特別積立金 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
事務所修繕及び備品積立金	39,570	36,990	事務所修繕及び備品積立金	39,570	36,990
研修費積立金	6,275	4,375	研修費積立金	6,275	4,375
計	45,845	41,365	計	45,845	41,365

歳入 ◎ 特別会計基本財産積立金 歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
財政調整基金	80,740	75,700	財政調整基金	80,740	75,700
事業積立金	186,454	147,570	事業積立金	186,454	147,570
計	267,194	223,270	計	267,194	223,270

白川ダムでみんな
揃って記念写真

平成二十三年八月二十五日川西町立大塚小学校四年生十五名を対象として「水の道探検隊」を行いました。これは、地域を担う子供たちに改良区の管理する農業用水利施設のいろいろな役割を紹介し、施設に対する関心と管理の必要性について理解を深めて貰うためのものです。

当日は、大塚小学校を出発し、水土里ネット白川の中央管理所、白川ダム監査廊、長瀬頭首工、大塚分水工、西大塚用水路終点、大塚用水路終点を見学し、自分たちの地域にくる水は何処を通つてくるのか、水の道を探検しました。

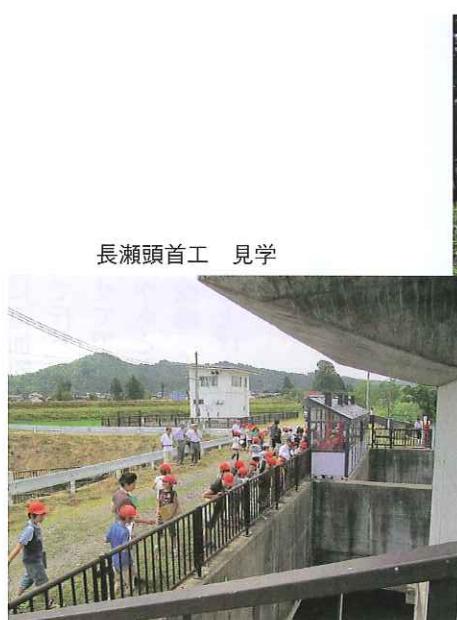
川西町立大塚小学校四年生 「平成二十三年度水の道探検隊」

白川ダム管理所前で
みんな揃って記念写真

白川ダム ボート乗船

飯豊町立添川小学校で行なつてている「小学校自然体験活動プログラム開発事業」の一環として、学校にかける水がどこからくるかその水路をたどる体験活動が、五年生十四名を対象として、平成二十三年六月十七日行なわれました。当日は天気に恵まれ、中央管理所を見学、白川ダムではボートに乗り、ダム湖面からの見学を行ないました。また、学校田までの水路をみんなで歩いてどうやつて田んぼへ水が来るのか、水の流れる経路を確認しました。

飯豊町立添川小学校 「米つくり水路めぐり」



長瀬頭首工 見学



長堀排水路(旧長堀堰)見学

川西町立小松小学校で実施している「校外学習施設めぐり」の一環として水土里ネット白川が管理している施設の見学会が四年生を対象として、平成二十三年六月二十二日行なされました。

長瀬頭首工、江戸時代に造られた長堀堰の跡や、現在は改修され長堀排水路となつている施設を見学しました。

川西町立小松小学校 「校外学習 施設めぐり」

【昭和農地水環境保全会の活動】

代表 佐 原 守

昨年の東日本大震災に始まり、夏のゲリラ豪雨、暴風雪が吹き荒れ、今年の作況が心配されるようです。そして今冬の大雪、四月に入り季節外れの暴風雨、暴風雪が吹き荒れ、今年の作況が心配されるようです。

平成十九年より「農地・水・環境保全対策事業」という新しい施策を導入して五年間を終了しました。この背景には、農家の高齢化や地域の混住化が進行して農地や農業用水など保全管理してゆくのが難しくなってきたため、農業者だけでなく地域住民、その他多くの団体等が力を合わせて農村や地域社会を守つていこうという施策であります。

当保全会においても、自分たちの地域社会を少しでも良くしていきたいという思いと、実施するにはいろんな困難なことがたくさんあるだろうと思いました。

しかし力を合わせて活動に取り組むことにより、地域ぐるみの繋がりを、次世代へと引き継いでいかなければならぬという思いで、この事業に参加させていただきました。

飯豊町昭和地区農地水環境保全会は初年度より共同活動と先進的営農活動に取り組みました。

何といっても事業を始めるには 地域をまとめてゆく役員を選出して頂かなければならないことです。

そのため役員選任については、各組織の代表者にお願いして五年間の事業期間中は改選を行わないということで、役員には相当な負担をおかけしたと思っています。

当地区は、土地改良による基盤整備や用排水路等整備されておりますが、老朽化した箇所が大分あり、この事業のお陰で、農道の敷き砂利、水路目地等が全線補修出来ました。

又、二階建て部分の営農活動については飯豊町で三組織だけの取り組みということで、初年度は非常に注目されました。

環境に優しい農業を行うため、堆肥散布、稻わらの鋤き込みによる有機物資源の活用、浅水管理、そして化学肥料、化学合成農薬を減らす技術を取り入れなければなりません。特に参加する農家は「エコファーマー」の認定を取得しなければならないので、飯豊町役場、JAおきたま、県普及センター等の指導を頂きながら数多くの勉強会を実施しました。

この事業の会議、作業を通して、意見交換、親睦をはかられたということが一番の成果だったのではないかと思っています。

昨年は白川土地改良区のご指導のもと、庄内の土地改良区を研修させていただきました。その中で、子供たちを中心とした水路からの空き缶、ペットボトルの回収、水質調査、水辺環境、特にホタルの幼虫調査、魚道整備（ビオトープ）そして子供も大人も集まれる憩いの場所（ポケットパーク）等を整備し、幼稚園から小中学生等参加できる事業をやっていました。

今後保全会としてぜひ取り組みたいものだと思つています。

本事業も平成二十三年度までの五カ年の協定を締結してきましたが、今年度から新しい制度が始まりました。

「農地・水保全管理支払い交付金」が加わり、老朽化が進む農地周りの水路農道等の長寿命化のための



施設の機能診断



共同作業による草刈



景観形成のための花植栽



共同作業による敷砂利

補修更新等を行う集落に追加的支援をする事業が平成二十八年までの期間で行われます。当保全会でも関係機関並びに飯豊町役場、白川土地改良区のご協力、ご指導をお願い申し上げます。
今後、様々な問題点があると思われますので、各協力機関並びに飯豊町役場、白川土地改良区のご協力、ご指導をお願い申し上げます。

活動の状況写真

県営こうづく地区経営体育成基盤整備事業 安全祈願祭、起工祝賀会



玉串奉奠 大河原施行委員長

平成二十三年六月八日に、県営こうづく地区経営体育成基盤整備事業安全祈願祭並びに起工祝賀会が挙行されました。こうづく地区は、1ha圃場を含む事業面積93.5ha、総事業費一、四三〇、〇〇〇千円で、平成二十二年度に事業採択され、五年間の事業期間で平成二十六年度に事業完了予定です。平成二十三年度は19haの区画整理工事が行われ、山形県のモデル地区として地下かんがいシステム（フォアスシステム）を採用した近代的な圃場に生まれ変わります。



表彰を受ける高橋理事長



全国土地改良事業団体連合会
野中会長からの表彰状

平成二十四年三月二十七日、東京都千代田区「シェーンバッハ砂防」において、「全国国土水土里ネット表彰式」が開催され、「全国土地改良功労者表彰」を本区高橋理事長が受章されました。

全国水土里ネット 土地改良功労者表彰

表 彰



佐貝支部長より表彰状を授与される猪股係長

平成二十三年度山形県土地改良事業団体連合会置賜支部通常総会が平成二十三年二月十四日長井市「グランパリス長井」で開催されました。その席上で佐貝全健支部長より管理課猪股事業係長に表彰状が贈られました。

土地連置賜支部 土地改良功労者表彰

平成24年度 通水安全祈願祭

平成二十四年四月二十七日 通水安全祈願祭が大川、黒川取水塔管理所において執り行われました。長井総宮神社安部神主による神事が行なわれ、高橋理事長、安部維持管理組合長会会長が玉串奉奠を行い今年の用水が事故なく通水し、秋の収穫を迎えることを祈願いたしました。

事務局構成

平成二十四年度事務局構成をお知らせいたします。

課		課		課		課		課		課	
長	補	長	補	長	補	長	補	長	補	長	補
庶務会計係 主事	佐	賦課徵收係 主事	補	賦課徵收係 主事	佐	木全貴子	田辺俊文	鈴木成一	木田俊文	木田俊文	木田俊文
維持管理係 主任	長	維持管理係 主任	長	維持管理係 主任	佐	高橋昌一郎	高橋昌一郎	高橋昌一郎	竹田亞津美	竹田亞津美	竹田亞津美
事業係 主事	事	事業係 長	業	事業係 主任	業	（横山補佐兼務） 小原雅彦	（横山補佐兼務） 猪股拓也	（横山補佐兼務） 青木茂也	（田辺補佐兼務） 井上香里	（田辺補佐兼務） 竹田香里	（田辺補佐兼務） 竹田香里
事業係 主事補	事	事業係 主任	業	事業係 主任	業	高橋郭文	高橋郭文	高橋郭文	高橋郭文	高橋郭文	高橋郭文
維持管理係 主任	事	維持管理係 主任	業	維持管理係 主任	業	手塚千晶	手塚千晶	手塚千晶	手塚千晶	手塚千晶	手塚千晶



玉串奉讃 高橋理事長



玉串泰曾 安部会長

休日出務

代かき・田植、間断かん
水期は、交替で出務し対
応いたします。

**TEL 0238-88-9331
FAX 0238-88-9348**



管理課	手て	管理課
高たか	塚づか	事業係
橋はし		
郭ひろ		
文ふみ		
川西町玉庭	飯豊町黒沢	じょう

新規採用

四月
一日付

お詫びとお願いいたします

子供達を水の事故から

ପାତ୍ରବିଧି

用水路の通水量は、気象条件や當農業上不定期に増減して危険です。

各地で農業用水路による子供の水難事故が起きております。

**子供を用水路付近で
絶対遊ばせないよう、
注意しましょう。**

